

2024年 4月18日発行 会報第1187号

今週のプログラム

(2024年 4月 18日 第1187回例会)

ファイアースイドミーティング  
《会長主催④》

担当：藤田 芳浩会長

次週のプログラム

(2024年 4月 25日 第1188回例会)

卓話：ダスキンの理念

担当：山本 友亮会員

第1186回例会 (2024年 4月11日) の記録

「会長の時間」

藤田 芳浩 会長

先週は、「お花見例会」皆様に楽しんで頂けたと思っております。全く予想しなかったゲストが多く参加され大変盛り上がった「花見例会」でした、山本 友亮親睦委員長に感謝申し上げます！

さて、本日は、「ファイアースイドミーティング」です。前回の3月28日に開催しました「ファイアースイドミーティング」では、様々なご意見を頂きましたので、本日もさらに前向きなご意見をお願いいたします！

様々な観点からご意見を頂き、様々なご提案をお願い致します。皆様の豊富なご経験と幅広い人脈からのご意見を宜しくお願い致します。まず、私といたしましては、守らなければならないロータリークラブの美点もありますが、やはり変化しなければならない部分も多く有りますので、チャレンジの気持ちを大切にあまり先入観を持たずに柔軟な考え方を大切にしていきたいと考えています。振り返って見れば、歴史は繰り返し築かれていくものなので、現状を変化していくことに慎重になりすぎでは結果が生まれてこないと考えています！どうか皆様柔軟な考え方をもち積極的なご意見をお願い致します。

何らタブーはないと思っております！宜しくお願い致します。そして前回の「ファイアースイドミーティング」では、皆様に何か具体的な奉仕活動のご提案・ご希望及び千里メイプルロータリークラブを表現するフレーズ等をお願いしとお伝えしましたので、是非ともそういったお話をお願い致します！私がお伝えするフレーズとしては、「みんなが主役だ！」とさせていただきます。次週には、何らかの「アクション (action)」をご報告する様に致します！

本日も宜しくお願い致します。



<本日のお客様> 2024 学年度 米山奨学生 グエン カム フンさん

<出席報告> 高尾 修 SAA 補助

会員数 (内出席免除会員 1 名) 19 名  
本日の出席者数 10 名  
(内出席免除会員 1 名 名誉会員 0 名)  
本日の出席率 52.63%

<ロータリーソング> 全会員

♪国歌 君が代♪  
♪奉仕の理想♪

<本日の演奏曲目> 近藤 美里さん

1. 桜 坂
2. 桜
3. しあわせの花

<幹事報告>

水島 洋 幹事

1. 先週、お花見例会の時に前年度米山奨学生のグエン キム フンさんがベトナムのおみやげのコーヒー・紅茶を持って来てくれましたが当日、分けることができませんでしたので本日、お一人分ずつに仕分けたものをお配り致します。
2. 本日例会終了後、理事会を開催致しますので理事・役員はお残り下さい。

<新規米山奨学生 グエン カム フンさんご挨拶>



大阪大学 人間科学部のグエン カム フンと申します。このたび、米山奨学金をいただけることになり大変ありがたく思っています。大切な機会を頂き今から頑張りますので、よろしくお願いします。

<ファインセッション>

高尾 修 SAA 補助

例会場抛金 ¥10,740



<SAA報告>

高尾 修 SAA 補助

※スマイルボックス

水島会員

藤田会長 今週もファイヤーサイドよろしくお願ひします。

※ラオス基金

なし

※ロータリー財団

水本会員

7日 高橋 勝成プロとラウンドしてきました。

高尾会員

コメントなし

※米山記念奨学会

藤田会員

グエン カム フンさん 今日も宜しくお願ひします。

高尾会員

グエン カム フンさん ようこそ

山本(雅)会員

コメントなし

※メイプル基金

藤田会員

本日ファイヤーサイド 皆様宜しく。 理事会開催致します。

山本(友)会員

本日もよろしく御願ひします。

相原会員

コメントなし



《本日のお料理》



1. 殻付き海老の油淋ソース
2. トマトと卵のスープ
3. 雲白肉 (茹で豚の四川風旨辛ソース)
4. もんごいかのフリット 辛みパウダー添え
5. 押し豆腐と白菜、夏草花、挽き肉の煮込み
6. 白飯、ザーサイ
7. マンゴープリン

## 《ファイヤーサイドミーティング③》

藤田 芳浩会長

前回3月28日の意見交換の要約は、以下の内容です。

「ロータリークラブとして何を指して奉仕活動をするのか、

もう一度原点に戻ることが必要だと考える」

「会員全員が、協力して行う事が出来るような活動を企画して実現したい」

「事業は、継続的に計画して行えるような体制が必要です」

「興味深い話を聞きたいので、そのような卓話者を例会に呼ぶようにしたい」

「経験のある年長者が、若い人たちに興味を持って聞いてもらえるように企画したい」

その他前向きで有意義な意見交換が出来たと思います、そこで次の「ファイヤーサイドミーティング」を4月11日に開催致します。付きましては下記の内容で各会員皆様に具体的なご提案及びご意見をお願い致します。

■今後活動したい内容を具体的にお願いします（どこかと連携しての活動も含まれます）。

■例会等で企画したい具体的な内容（興味深い卓話等の企画）。

■千里メイプルロータリークラブを端的に表現した言葉・キャッチフレーズ

（入会活動に活かせるような言葉やキャッチフレーズだとさらに良いと思います）

■単年度ではなく、継続できる奉仕活動や活動企画。

■柔軟な例会が開催できる例会場等の提案。

■その他、クラブの活性化の役立つ新規提案。

以上 この会報を確認された会員の皆様へのお願い！

4月11日に例会参加出来なくてもご意見ご提案を積極的にお願い致します。

本日は、前回の「ファイヤーサイドミーティング」に引き続いての開催となります。

本日の「ファイヤーサイドミーティング」に参加された会員の皆様

相原 正雄会員・水本 徹会員・水島 洋会員・村田 純子会員・高田 宗慶会員

高尾 修会員・山本 雅之会員・山本 友亮会員・木下 健治会員・藤田 芳浩 以上10名

やはり、会員全員で一つの目標をもって活動することで一体感が出てきます、過去の事例では、

「ライラ RYLA」のホストクラブを務めた時などは一番結束力が高まった事例だと思います。その頃の第2660地区には、82くらいのクラブがあり、一度「ライラ RYLA」をやるともう次は、多分人生の中では巡り合わない事になると思っていましたので、これは必ず受けなければと会員全員が感じていました、当時でも千里メイプルロータリークラブは、少人数で地区のご担当者は果たしてこの人数で出来るのか？と若干疑問に思っていた節があります。それに対して毎週の様に例会終了後、地区事務所で「チームライラ RYLA」の若いメンバーと打ち合わせをしましてし、泊まり込みで六甲山での下見会を開催しました。そこに共有する一体感がありました！

或いは、「ラオスの保健衛生支援活動」で現地に行かれた会員及びその報告を詳細に聞かれた会員には、奉仕活動の実態を共有した感覚になったと思います。以上のような観点からも共通する目標が非常に大切な事が判りますので、是非クラブを存続させてそういった経験のない会員の皆様に奉仕活動の一体感を共有して欲しいと思います。

その為には、汗を流して活動するのが本来の奉仕だと思います。少人数なりの企画をして「ラオス」に行けないのなら「能登」に行く計画を考える等 必要だと思います。

\*卓話の内容について、外部講師を招いて日ごろ聞けない話を聞く或いは、会員皆様の専門的な卓話—医師の会員には、「健康増進について」税理士の会員には「税金に関する有用な方法（節税）」などなどです。興味を持てる卓話があれば、出席も増えると思います。

\*「こども食堂」について、の支援開始時の経緯は、吹田市の地域との連携で子供たちの居場所作り「ひとりぼっちにさせない」を目標に活動していた「放課後 kids」が江坂に有るとの事でプレイルームに行った際に、「こども食堂」の活動を知り援助する事になったとの事です。ただ、現状の「こども食堂」には、あまり多くの会員が参加できる状況ではなく会員全員での参加は、現実的ではないと考えていますので、経済的支援だけになります。

\*最終的には、クラブを楽しく！積極的な奉仕活動を中心に行う事が、必要だと思います！その為には、もう一度クラブの運営費を見直して、年会費を現状の半額位になる様にすれば、もっと会員の勧誘もできて、活動資金も確保できるのでは？現状の説明を申し上げますと地区への拠出資金・RI 分担金等で1人当たり年間約7万円程度となります。そこに例会開催費用及び事務局経費等が必要となりますので、低減できるのは、例会開催費用と事務局維持経費が対象になります。

\*最後に本日の「ファイヤーサイドミーティング」について申し上げます。  
やはり数は、力なので、会員数を増やす努力を全員でがんばりましょう！  
例会回数だけをクローズアップする事は、適当ではないでしょう！  
柔軟に考えて、やれることから実施する事には、非常に意味が有ると思います。やりながら必要な「**改革・改善**」を進めて行かなければなりません！  
「**みんなが主役!**」ですので、**脇役はありません!**  
「**手弁当**」でも奉仕活動はできるので、「**テイク アクション (Take Action)**」です!

